

講演会と交流会は修了しましたので概要を報告します

「血管炎の講演会と交流会」

日 時 令和元年 10 月 19 日（土） 13：30～16：10
場 所 サンシップとやま 501 号室
参加者 本人及び家族等 15 人
講 師 富山大学附属病院 免疫・膠原病内科
診療講師 朴木 博幸 先生



血管炎の中でも 4 疾患について県から案内されましたが、参加希望のあったのは顕微鏡的多発血管炎と高安動脈炎の患者さんでした。

講義は 2 疾患について講師が板書して、病気の状態像、症状、検査、治療方法について比較しながらわかりやすく話を進められました。

<交流会と質疑応答>

交流会では、患者自身の発病当時のことや現在の治療状況、困っていることなど体験が話されました。その中から、講師に「新たな臓器への発症が心配（顕微鏡的多発血管炎患者）」「リウマチとの因果関係は？（顕微鏡的多発血管炎患者）」「炎症症状を悪化させない療養生活、仕事を継続させるポイントは？（高安動脈炎患者）」「心不全によりだるく、動けないことから筋力低下が著しい（高安動脈炎患者）」等様々な質問が出され、それについて講師からわかりやすく丁寧な回答をいただきました。

参加者のアンケート結果では、「参考になった。大動脈炎は予後良好なイメージだったが皆さん重症な人が多く驚いた」「最初に交流会があり緊張感がほぐれてよかった。講師の話も 2 疾患を比較しながら板書され、わかりやすかった」等の意見が記載されていました。